

千呂露-Tirol-

大学入試の動向について

皆さん冬休みを楽しんでいるでしょうか。今回は、次年度から変わる大学入試の制度についてお知らせします。

大学入試の最近の動向

「大学入試英語成績提供システム・記述式問題」見送り

前号でお知らせした「大学入試英語成績提供システム」ですが、11月1日に導入を見送ることが発表がありました。

また、次年度の大学入学共通テストから、**国語と数学において記述式問題**が導入される予定でしたが、こちらも12月17日に**導入を見送る**と発表がありました。

なお、大学入試における新たな英語試験については、「令和6年度に実施する試験から導入する」「今後一年を目途に検討し、結論を出す」とのことです。記述式問題については、「期限を区切った延期ではない」とし、今後の導入について再検討するとしています。

大学入試の変更点 概要

現在の名称	変更後の名称	主な変更点
大学入試センター試験	大学入学共通テスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科や日程は現状と変更なし 思考力や判断力、表現力を問う問題が増加する見込み 外国語（英語）の試験が大きく変化する（次項参照）
一般入試	一般選抜	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験に加え、調査書や志願者本人が記載する資料等の活用を促進する
AO入試	総合型選抜	<ul style="list-style-type: none"> 出願書類のみの選考はなくなる 「出願時期：9月以降」「合格発表：11月以降」へ変更（現行では、「出願・合格発表時期：8月以降」）
推薦入試	学校推薦型選抜	<ul style="list-style-type: none"> 出願書類のみの選考はなくなる 「出願時期：11月以降」「合格発表：12月以降」へ変更（現行では、「出願・合格発表時期：11月」）

大学入学共通テストにおける外国語（英語）の変更点

①配点の変化

現在	変更後
リーディング 200点	リーディング 100点
リスニング 50点	リスニング 100点

※これまではリーディング重視でしたが、これからの入試では「リスニングが苦手」というのは致命傷になります。

②内容の変更

これまで出題されていた「発音、アクセント、語句整序等を単独で問う問題」が**出題されない**こととなりました。

大学入試 動向まとめ

次年度の入試から、上記のように様々な内容が変更になるので、今後の入試に備え以下のことが重要になります。

①早めの情報収集を

今後も新たな情報が出る可能性もあります。また、進学先によってどのように変更されるかも異なります。そのため、早い段階から進学先の情報を調べ、検討していくことが必要です。

②基礎学力の確実な定着

総合型選抜（現AO入試）、学校推薦型選抜（現推薦入試）においても、より基礎学力が重視されることとなります。日々の授業や自学自習によって、確実に学力を付けていくことが求められます。

③日高での体験や志望の理由等を表現できるように

一般選抜やその他の選抜でも、志願者本人が記載する資料（志望理由書や活動報告書等）が一層重視されていきます。また、面接やプレゼンテーションを課す場合も増えると考えられます。それらの場面で、表現する力が求められます。

1・2年生対象「親子話し合いシート」について

1・2年生の皆さんは、保護者の方とよく話し合い、「親子話し合いシート」を記入してきてください。（用紙はこの通信と同封されています。）

特に2年生の皆さんは、本格的な進路活動が目前に迫っています。「受験学年0学期」からスムーズに動けるよう、自身の進路と向き合い、保護者の方と入念に話をしてください。

提出期限：1月15日（始業式時に担任の先生へ提出）

